

子育て未来応援プラン「あしや」のPDCA（第5章地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策）

計画のニーズ量<28年度実績(実際のニーズ量)…見直しを行う

ニーズがあるだけサービスを提供する(受皿を確保する)という前提の計画であるため、28年度実績が計画のニーズ量を上回っている部分については、28年度実績の数字を参考に、上方修正の見直しを行う。

計画のニーズ量>28年度実績(実際のニーズ量)…見直しは行わない

見直すとなれば、28年度実績に近づけるよう計画のニーズ量を下方修正するということになるが、当時のアンケートにおいて把握されたニーズ量を下方修正することは市のサービス目標を低下させるということになるため、計画のニーズ量の下方修正の見直しは行わない。

事業名	現状 (計画と28年度実績の比較)		現状を踏まえた市の考え方
時間外保育事業	計画のニーズ量 630人	> 28年度実績 568人	計画のニーズ量の下方修正はせず、現行のまま据え置く
放課後児童健全育成事業	計画のニーズ量 483人	< 28年度実績 511人	低学年においては、計画のニーズ量と28年度実績との間に大きな離れは見られないが、現に計画を上回る実績があること、また申込み者数が増加傾向にあることから見直しを行う(資料1-3参照) 高学年においては、計画のニーズ量の下方修正はせず、現行のまま据え置く
	計画のニーズ量 145人	> 28年度実績 132人※ (44人)	
子育て短期支援事業	計画のニーズ量 33人	> 28年度実績 6人	計画のニーズ量の下方修正はせず、現行のまま据え置く
	計画の実施箇所数 12か所	= 28年度実績 12か所	計画の確保方策において、見直しは行わない
地域子育て拠点事業	計画のニーズ量 4,199人	> 28年度実績 1,320人	計画のニーズ量の下方修正はせず、現行のまま据え置く
	計画の実施箇所数 2か所	> 28年度実績 1か所	計画の確保方策において、計画が先行している状況にあるが、計画の下方修正はせず、現行のまま据え置く

※28年度は4年生のみの受入れであり、実績は44人だったが、計画のニーズ量145人は4～6年生の合計であるため、実績44人×3(4～6年生分)=132人とした

(表面の続き)

事業名	現状 (計画と28年度実績の比較)		現状を踏まえた市の考え方
一時預かり事業 (幼稚園型)	計画のニーズ量 57,845人	> 28年度実績 (調査中)	28年度実績は現在調査中であるが、計画のニーズ量が上回る見込み 計画のニーズ量の下方修正はせず、現行のまま据え置く
一時預かり事業 (保育所及びファミリー・サ ポート・センター)	計画のニーズ量 27,087人	> 28年度実績 10,658人	計画のニーズ量の下方修正はせず、現行のまま据え置く
病児保育事業	計画のニーズ量 187人	> 28年度実績 147人	計画のニーズ量の下方修正はせず、現行のまま据え置く
	計画の実施箇所数 1か所	= 28年度実績 1か所	計画の確保方策において、見直しは行わない
子育て援助活動支援事業 (就学児)	計画のニーズ量 15,839人	> 28年度実績 852人	計画のニーズ量の下方修正はせず、現行のまま据え置く
利用者支援事業	計画の確保数 1か所	= 28年度実績 1か所	計画の確保方策において、見直しは行わない
妊婦健康診査	計画のニーズ量 1,301人	> 28年度実績 1,247人	計画のニーズ量の下方修正はせず、現行のまま据え置く
乳児家庭全戸訪問事業	計画の推計値 734件	> 28年度実績 698件	計画の推計値の下方修正はせず、現行のまま据え置く
養育支援訪問事業等	計画の推計値 7人	> 28年度実績 1人	計画の推計値の下方修正はせず、現行のまま据え置く

計画のニーズ量はアンケートを基にしていることから、サービスを利用してみたいといった潜在的なニーズを含んでいるが、28年度実績の数値は申込み
やサービスを利用する等の顕在化したニーズであり、潜在的なニーズは含まれていない